

経営比較分析表（令和4年度決算）

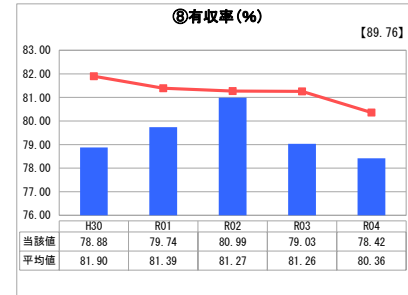
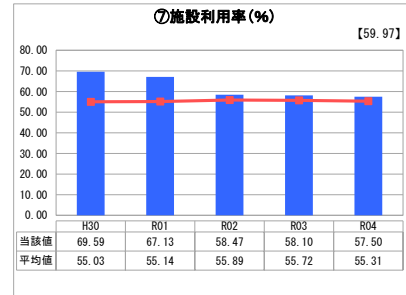
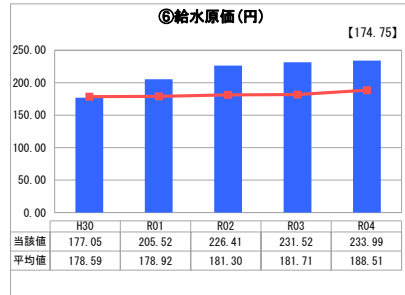
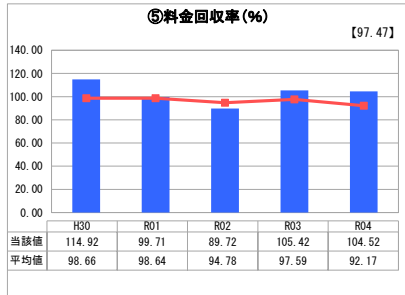
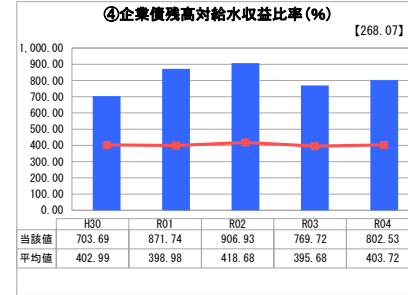
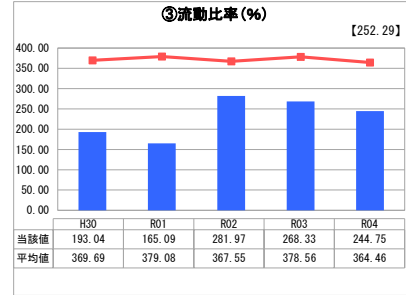
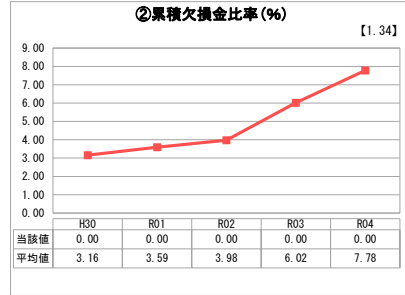
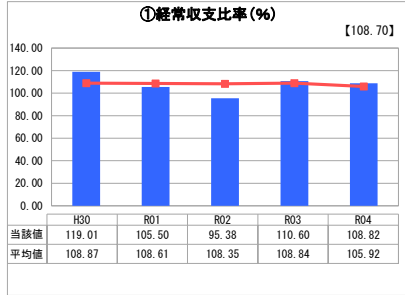
岩手県 大船渡市

業種名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	52.99	80.53	4,180	

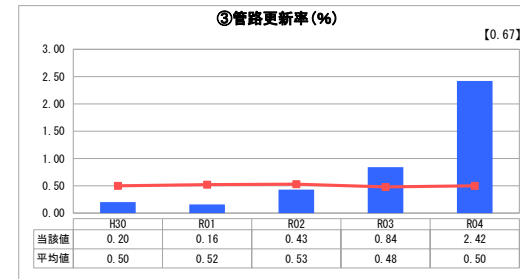
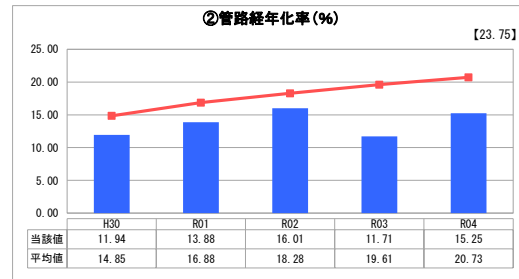
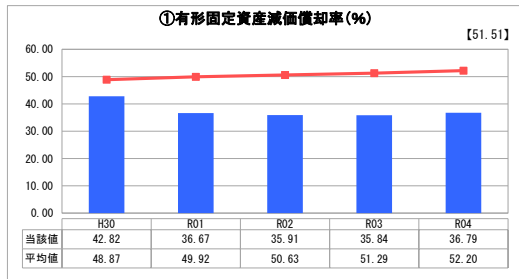
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,540	322.51	104.00
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
26,768	20.50	1,305.76

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
令和3年4月の料金改定に伴い、収支が黒字となっているが、今後の給水需要は、確実に減少するものと予想されていることから、費用節減（施設等の維持管理費）に努めることが必要となる。
- ②累積欠損比率
現時点においては累積欠損金は無いが、給水人口減少傾向に伴い、給水収益も減少傾向である。施設等の維持管理費が増加傾向にあることから、注視が必要となる。
- ③流動比率
短期的な債務に対する支払能力は、100%を上回る水準を維持しており、現時点では支払能力に問題はない。
- ④企業債残高対給水収益比率
未給水区域の解消を図るため、施設整備を重点的に実施しており、増加傾向にある。
- ⑤料金回収率
令和3年4月の料金改定に伴い、給水収益が増加したが、経常費用が増加していることから、注視が必要となる。
- ⑥給水原価
類似団体と比較して高い水準となっており、施設整備により、減価償却費等が増加することから、今後も当該原価が高まることが見込まれる。
- ⑦施設利用率
類似団体と比較して概ね同水準となっており、配水施設のより効率的な運営が求められる。
- ⑧有収率
減少傾向にあり、配水管の更新など更なる漏水防止対策が必要となる。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
類似団体よりも低い水準にあるが、今後、第4浄水場、復興事業等で整備した施設に係る減価償却費の計上により、上昇傾向になることが見込まれる。
- ②管路経年化率
復興事業の実施等に伴い老朽管の更新が進んだことから、類似団体よりも低い水準となっているが、アセットマネジメントに基づく計画的な更新が必須となる。
- ③管路更新率
類似団体と比較して高い水準であるが、今後更新時期を迎える老朽管も多数あることから、アセットマネジメントに基づく計画的な更新が必須となる。

全体総括

人口減少社会への移行に伴い給水人口の減少が顕著に現れ始め、今後の給水需要は確実に減少するものと予想される。

この様な厳しい状況の中、市内最後の未給水区域の解消に向けて給水基盤の拡充を図っているが、事業展開する区域は、多くの収益が見込まれない地域での整備となることから、適切な整備が必須であること、さらには、耐用年数を迎える老朽化した配水管等の布設替えや、施設の機械、電気設備等のアセットマネジメントに基づいた更新が必要となる。

令和6年4月の簡易水道事業（旧三陸町）との統合に伴い、新たに策定する経営戦略に基づき、経営改善の取組や重要度に応じた施設設備の更新を実施し、持続的な事業運営と経営基盤の強化に努める。